



公式ホームページ



公式SNS (X)

2024,11,07

No. 105

ワンマン運転拡大へ 2025年春 常磐緩行線・南武線を皮切りに どうなる安全性・サービスレベル



9月24日 首都圏各地でビラ配布を実施

11月6日、JR東日本は首都圏におけるワンマン運転を2025年春に常磐緩行線と南武線、26年春には横浜線・根岸線の八王子・大船間に拡大すると公表しました。さらに30年ごろまでに京浜東北・根岸線、中央・総武緩行線や埼京・川越線でも実施する予定となります。これらの線区は、すでに実施されている6両編成までの中編成ワンマン運転と異なり、輸送密度の高い線区での長編成ワンマン運転となります。

輸送サービス労組はこの間「短・中編成ワンマン運転で発生している安全・サービスレベル低下を招いている課題・現状を解決することなく、長編成ワンマン運転を開始することは認められない」と訴え、ビラ配布や『JR東日本の「ワンマン運転」を考える院内集会』や意見交換会を開催してきました。施策は公表されましたが、輸送サービス労組はこれからも利用者の皆さんの声も踏まえ、安全・安心にご利用して頂ける鉄道をつくり出すために取り組んでいきます。



JR東日本輸送サービス労働組合 綾瀬運輸区分会情報

Ayase

NO.12 2024年10月31日 発行責任者：綾瀬運輸区分会

松戸市障害者団体連絡協議会と ワンマン運転について意見交換しました



10月23日、松戸市障害者団体連絡協議会（松障協）と常磐緩行線でのワンマン運転について意見交換を行ってきました。当日は松障協から10名、松戸市議の岡本さん、車椅子アーティストの神威龍牙さん、綾瀬運輸区分会から4名、上野支部から2名、東京地本から2名、松戸車両センター分会エルダーの篠原さんで意見交換を行いました。

意見交換では、

- ①ワンマン運転が始まっていない今でもJRは使いづらい、車椅子は予め連絡しないと待たされる。
 - ②知的障害者への認識はどうなっているのか？
 - ③ろうあ者は情報が取れない。車内のモニターに状況を表示してもらわないと何もわからない。
 - ④車椅子で電車に乗って避難誘導になった時はどうなるのか？
- など多くの意見をいただきました。

また、松障協の皆さんが、常磐緩行線がワンマン運転になることを全く知らない現状を知り、世論に訴える必要性を感じました。

議員懇やビラ配布を通じてワンマン運転の問題点を世間に広めていこう！

ワンマン運転に関する皆さまの声を
ぜひお聞かせください！



左記の二次元コードの
輸送サービス労組ホームページ
お問い合わせフォームより